

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

学位申請者	門村 亜珠沙【理学専攻 平成25年度生】	要 旨
論 文 題 目	Design Method for Per Ubiquitous Computing System for Improving Daily Behaviors	<p>コンピュータデバイス、ネットワーク、センサのコモディティ化に伴い、家庭におけるユビキタスコンピューティングが現実的になり、多くのアプリケーション提案がなされている。本学位論文では、日常の行動の中でも健康と深く関係のある食行動と、昨今重要課題とされている子供の食育活動に着目し、家庭内で食育を支援するユビキタスコンピューティングシステムの実現と設計手法の体系化を目指した。申請者は、幼稚園での実態調査に基づき、偏食とアンバランスな摂食に着目し、これらの問題行動を、音やコンピュータゲームで楽しみながら改善するシステム EaTheremin と SensingFork を開発した。これらを、複数の子供の実際の食事の場で使用し、実証実験により有用性を確認した。</p> <p>本論文では申請者が、独創的な機構を備えた実用性の高いデバイスを開発し、その有用性を実証している。申請者は、家庭におけるユビキタスコンピューティングアプリケーションの設計手法について、新たな視点を開拓し、課題を網羅的に分析評価しており、当該分野の第一人者たる研究成果をあげたことを示している。</p> <p>以上の点から、本論文は申請者に学位を授与する相応しい論文であると考えられる。</p>
審 査 委 員	(主査) 教授 椎尾 一郎	
	教授 伊藤 貴之	
	教授 小林 一郎	
	准教授 斎藤 豪	
	教授 吉田 裕亮	
	東京大学 大学院 情報学環 教授 暦本 純一	